

東京演劇集団風  
バリアフリー演劇

# ヘレン・ケラー

～ひびき合うものたち

*Helen Keller — Hearts in Communion*

作:松兼功 演出:浅野佳成

バリアフリー芸術監督 北岡賢剛 バリアフリー総合監修 尾上浩二

自分らしい明日を探している  
全ての人たちへ——

東京演劇集団風が長年上演した「ヘレン・ケラー～ひびき合うものたち～」にバリアフリー演出を加えて誰しもが一緒に楽しめる新しい舞台を作り上げました。この機会に、ぜひバリアフリー演劇を体験ください。

バリアフリー字幕の表示、舞台上での手話通訳、音声ガイド、舞台説明あり

サンパール荒川 大ホール  
2024年5月18日(土) 14:00開演

(途中休憩を挟んで2時間)

- |                            |                            |
|----------------------------|----------------------------|
| 12:45 先行入場                 | 車椅子の方やお体が不自由な方など、お手伝いが必要な方 |
| 13:00 開場                   |                            |
| 13:40 舞台説明                 | サポート内容、出演者が舞台装置や役柄、衣装を紹介   |
| 14:00～16:00 公演(休憩含む)       |                            |
| 16:00～16:30 バックステージツアー・座談会 |                            |

【チケット】**無料** 全席自由席(要申込)

※チケットは町屋文化センターまたはサンパール荒川の窓口にてお申し込みください。4/1 13:00 より発券いたします。

〈町屋文化センター〉

窓口: 休館日を除く 9:00～17:30 TEL: 03-3802-7111

〈サンパール荒川〉

窓口: 休館日を除く 9:00～22:00 TEL: 03-3806-6531

●お問い合わせ

東京荒川ロータリークラブ: TEL:03-3806-2833

E-mail: arakawar@sepia.ocn.ne.jp (受付: 平日10時～17時/土日祝除く)

URL: <http://tokyo-arakawa-rc.com/>

(サポート内容のご質問や配慮を必要とされる方はこちらにお問い合わせください)

※車いす席には数に限りがあります。ご希望の方は事前に必ず東京荒川ロータリークラブ事務局までご連絡下さい。

主催: 荒川ロータリークラブ

共催: 荒川区・ACC 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団

後援: 荒川区教育委員会・荒川区社会福祉協議会

Rotary 

東京荒川ロータリークラブ

## バリアフリー演劇公演のご案内

この度、私たち東京荒川ロータリークラブは人と人が関わりあい生まれる心の豊かさを感じられる場をつくりたいと考え、バリアフリー演劇プロジェクトを企画、荒川区、公益財団法人荒川区芸術文化振興財団との共催で東京演劇集団風「ヘレン・ケラー～ひびき合うものたち」を上演する運びとなりました。この作品はよく知られているヘレン・ケラーの物語ですが、自分らしい明日を探し今を生きる人たちにに向けた、「生きている幸せをともに味わいたい」と求めあうヘレンとアニー・サリバンの出会いの物語です。障がいのあるなしに関わらず私たち一人一人が人として公平に関わりあえること、認め合えること、それを通じて私たちがいまを生き、次代を担う人たちにとって生きる喜びや、人と人が関わりあう喜びに出会う場になることを願って、私たちは公演の場を作りました。是非この機会に楽しみながらご覧いただければ幸いです。



### 舞台説明

サポート内容、舞台装置や広さなどを説明・出演者が役柄や衣装を紹介します



### 舞台手話通訳

物語の進行に合わせて舞台上を動きながら通訳を行います



### バリアフリー字幕・ライブ音声ガイド

舞台中央に日本語字幕を投影／音声ガイドが客席に流れます

バリアフリー演劇は、舞台後方の字幕とライブで役者の動きなどを俳優が説明する音声ガイドに加え、舞台衣装をまとった手話通訳者が役者と連動しながら舞台上で通訳します。

事前資料貸出し / ご希望の方に事前に上演台本をお貸し出します。点字や点訳データの上演台本もごございますので、ご希望の方は主催者までご連絡ください。



## 自分らしい明日を探している 全ての人たちへ――

「生きている幸せをともに味わいたい」と求めあう  
ヘレン・ケラーとアニー・サリバンとの出会いの物語

### あらすじ

アメリカ南部アラバマ州タスカンビア。

ヘレン・ケラーは、2歳の誕生日を迎える前、突然の病気で見ることも、聞くことができなくなってしまいます。同じ頃、パーキンス盲学校で勉強するアニー・サリバンは、弟ジミーが孤児院で病死したとの知らせを聞きます。

5年の月日が流れたとき、ヘレンの家庭教師となったアニー。彼女は身体ごとぶつかり合いながら、ヘレンとコミュニケーションをとり、指文字を教え始めます。しかしヘレンは言うことを聞かれません。アニーは教師としての自信を失いかけてますが、「ヘレンとふたりだけで生活したい」とヘレンの家族に話します。ヘレンとぶつかり合い、指文字を教え、生活のすべてを共にしたアニー。ヘレンの幸せを願い、自分にとってもヘレンがかげがえのない存在になっていることに気づきはじめます。その想いに呼応するように、ヘレンのなかでも何かが大きく動き始める――。



【都電荒川線】  
東京メトロ千代田線・京成線 町屋駅より  
都電荒川線乗換三ノ輪橋方面→  
荒川区役所前下車 徒歩2分

【都バス】  
JR日暮里駅東口より「里22」亀戸行き→  
荒川区役所前下車 徒歩2分  
JR西日暮里駅より「草63」浅草町行き→  
荒川区役所前下車 徒歩2分

【東京メトロ】  
日比谷線三ノ輪駅下車 南千住方面  
3番改札を出て明治通りを  
王子方面へ徒歩12分(荒川警察署向い)

### 出演

ヘレン・ケラー……………倉八ほなみ  
アニー・サリバン……………渋谷愛  
アーサー・ケラー(ヘレンの父)……………酒井宗親  
ケート・ケラー(ヘレンの母)……………仲村三千代  
ジェイムス・ケラー(ヘレンの兄)……………中村 滋  
アナグノス(アニーの先生)……………緒方一則  
医者……………坂牧明  
パーシィ(ヘレンの友達)……………稲葉礼恵  
ビニー……………清水菜穂子  
舞台手話通訳……………小島祐美  
音声ガイドナレーター……………辻由美子

### <スタッフ>

音楽 小室等  
舞台美術 上田淳子 音声ガイド監修 大河内直之  
照明 坂野貢也 字幕・手話監修 廣川麻子  
音響 酒見篤志